

呉市上下水道局は、令和2年度から令和5年度までの4年間の取組内容を掲載した「呉市上下水道ビジョン後期経営計画」を昨年12月に策定しました。

この計画では、特に緊急性や優先順位が高い6つの施策を重点施策と位置付け、着実に実行し、令和の時代も引き続き安全で安心、安定したサービスを提供できるよう、全力で取り組みます。

後期経営計画の6つの重点施策

施設の最適化

将来の水需要予測の見極めと事故、濁水などの非常事態に対応できる適正規模での水源の確保に努めます。

下水道施設の計画的な改築更新

施設の健全度に関する調査診断結果を元に、更新または改築による延命化を進めます。

水道施設の計画的な改築更新

老朽化の進んだ管路や水道施設を優先的に改築更新します。

基本理念
次世代につなぐ
信頼ある上下水道

施設の耐震化の推進

施設の耐震化には多額の費用と長い時間が必要なことから、改築更新に合わせて計画的に進めます。

浸水対策(雨水整備)の推進

浸水被害が多発している市街地を対象とした施設整備を重点的に行います。

経営基盤の強化

持続可能な事業経営を確立するため、管理運営について最大限の効率化を図った上で、経営基盤の強化を図ります。



水道管耐震管布設工事現場